

学校施設の耐震診断結果一覧表

平成26年4月1日現在

学校名	建物区分	構造区分	階数	建築年月	面積	耐震基準	Is値 (最低値)	耐震化等 対応状況
下吉田第一小学校	校舎	RC	3	S54.7	3,700㎡	旧	0.74	H19補強済み
	体育館	S	1	S58.3	786㎡	新		
下吉田第二小学校	校舎	RC	3	S58.3	1,897㎡	新		
	校舎	RC	3	S59.3	1,234㎡	新		
	校舎	RC	3	S57.3	324㎡	新		
	校舎	RC	3	S57.3	647㎡	新		
	校舎	RC	3	S53.3	127㎡	旧	0.82	H17補強済み
	校舎	RC	3	S53.3	2,273㎡	旧	0.82	H17補強済み
	体育館	S	1	H22.3	1,278㎡	新		
下吉田東小学校	校舎	RC	2	S51.3	1,920㎡	旧	0.96	補強不要
	校舎	RC	3	S51.3	1,980㎡	旧	0.73	H16補強済み
	体育館	S	1	H23.3	952㎡	新		
明見小学校	校舎	RC	3	H12.8	2,714㎡	新		
	校舎	RC	3	S57.3	513㎡	新		
	校舎	RC	3	S57.3	1,216㎡	新		
	校舎	RC	3	S49.6	1,338㎡	旧	0.89	H13補強済み
	体育館	S	1	H24.3	961㎡	新		
吉田小学校	校舎	RC	2	S60.3	375㎡	新		
	校舎	RC	3	S60.3	1,333㎡	新		
	校舎	RC	3	S63.8	1,322㎡	新		
	校舎	RC	3	H4.1	576㎡	新		
	校舎	RC	3	H4.1	657㎡	新		
	校舎	RC	2	H7.3	20㎡	新		
	校舎	RC	3	H15.6	903㎡	新		
	校舎	RC	3	H15.6	440㎡	新		
	体育館	S	1	H25.3	1,010㎡	新		
吉田西小学校	校舎	RC	2	S52.9	1,402㎡	旧	0.81	補強不要
	校舎	RC	3	S52.9	2,480㎡	旧	0.78	H18補強済み
	校舎	RC	2	S55.3	360㎡	旧	0.83	補強不要
	校舎	RC	2	H19.10	12㎡	新		
	校舎	RC	2	S56.3	360㎡	旧	1.09	補強不要
	体育館	S	1	H24.3	972㎡	新		
富士小学校	校舎	RC	3	S62.3	817㎡	新		
	校舎	RC	3	S62.3	1,549㎡	新		
	校舎	RC	3	S63.3	1,897㎡	新		
	体育館	S	1	H23.3	868㎡	新		
吉田小学校分校	校舎	RC	7	H13.4	40㎡	新		

学校施設の耐震診断結果一覧表

平成26年4月1日現在

学校名	建物区分	構造区分	階数	建築年月	面積	耐震基準	Is値 (最低値)	耐震化等 対応状況
下吉田中学校	校舎	RC	4	S57.3	1,929㎡	新		
	校舎	RC	3	S47.3	1,257㎡	旧	0.78	補強済み
	校舎	RC	3	S52.3	1,409㎡	旧	0.78	補強済み
	校舎	RC	4	S58.3	1,174㎡	新		
	校舎	RC	4	S60.3	1,826㎡	新		
	体育館	S	1	S59.3	1,530㎡	新		
明見中学校	校舎	RC	1	S54.11	283㎡	旧	0.98	補強不要
	校舎	RC	3	S54.11	2,009㎡	旧	0.72	補強不要
	校舎	RC	3	S54.11	1,408㎡	旧	0.75	補強済み
	校舎	RC	3	H11.5	451㎡	新		
	体育館	S	1	S58.2	1,330㎡	新		
吉田中学校	校舎	RC	1	S41.3	315㎡	旧	1.26	補強不要
	校舎	RC	4	S51.3	1,336㎡	旧	0.77	H15補強済み
	校舎	RC	4	S56.3	2,044㎡	旧	0.75	H15補強済み
	校舎	RC	4	S59.5	728㎡	新		
	校舎	RC	4	H2.8	1,830㎡	新		
	体育館	S	2	S61.3	1,410㎡	新		
富士見台中学校	校舎	RC	3	S56.11	3,018㎡	旧	0.76	補強不要
	体育館	S	1	S58.2	870㎡	新		

○耐震基準について

旧耐震基準の建物(56年以前建築)を「旧」、新耐震基準施工後(57年以降建築)の建物を「新」としています。新耐震基準の建物は、耐震性があるとされておりま

○構造区分

RC＝鉄筋コンクリート造り 、 S＝鉄骨造り

○Is値について

Is値とは建物の耐震性能を判断するための数値(構造耐震指標)です。

- ・Is値が0.3未満の場合は、地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高い。
- ・Is値が0.3以上0.6未満の場合は、地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある。
- ・Is値が0.6以上の場合は、地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が低い。